

「私らしく」ファッションで応援



チャリティー活動で売る服を着るTOKYO PANDAさん(サイト画像から)

世界から被災地へ

東日本大震災

中国最大のネット通販「淘宝网」のサイトでファッションリーダーの一人として活躍する日本人女性、TOKYO PANDAさん(27)が、自分の服をネ

中国・瀋陽の医大に留学中のPANDAさんは2年前から、淘宝网で買った服を着た自分の写真を掲載。中国人の女性の間で大人気だ。「自分らしい形で被災地を応援できないか」と考

ットで販売し、売上金をすべて東日本震災の義援金にあてる活動を始めた。

自分の服売り、義援金に 中国で人気の留学生

え、以前に買った服を売って義援金を送ることを思いついた。発売日時を事前告知した上で、3月下旬と4月上旬に淘宝网のサイト上に「PANDAチャリティー活動」と銘打ち、自らモデルになった写真を掲載して35着を売り出した。すると、中国人ファンが殺到し、わずか数秒で売り切れ。買った人から「日本のために何かしたかった」「日本が良くなりますように」などの温かいコメントも寄せられた。これまで約3千円(約3万8千円)が集まっている。「今後はネットに常設のチャリティーショップをもうけ、息の長い活動をしていきたい」(瀋陽―西村大輔)